

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 16 日現在

機関番号：57102

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23720131

研究課題名(和文)次世代研究環境整備のための在九州戯作文献データベースの構築

研究課題名(英文)Construction of Kyushu Fictional Literature Database for the next generation researchers

研究代表者

菱岡 憲司(Hishioka, Kenji)

有明工業高等専門学校・その他部局等・准教授

研究者番号：10548720

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円、(間接経費) 960,000円

研究成果の概要(和文)：九州大学が所蔵する合巻(ごうかん)・読本(よみほん)という江戸時代後期の戯作(げさく)を対象として、戯作文献データベースを構築した。従来のデータベース作成は紙媒体の目録が主体であったが、今回の研究成果は、インターネット上でPDF画像による全頁閲覧を可能にし、調査結果を踏まえた書誌情報を同じくwebに公開することで公開資料の学術的な質を担保するなど、次世代の学術研究環境の整備を成し遂げた。

研究成果の概要(英文)：Kyushu University holds numerous YOMIHON and GOKAN (Japanese GESAKU Literature). I constructed an electronic database of them. Most of Conventional GESAKU databases are paper-made inventories. But this electronic database consist of PDF images so it allows users to view all pages at once on the Internet. Users can upload their survey results on the website so it ensures the academic quality of the surveys. This research has achieved the improvement of academic research environment for the next generation researchers.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：データベース PDF画像 読本 合巻 九州大学所蔵 戯作 書誌情報 松浦家

1. 研究開始当初の背景

日本古典文学のテキスト提供は、従来の影印版(写真版)からインターネットを介した画像データベース公開へと変化しており、これは公共性・利便性の点で不可逆な流れである。現在、各種機関で画像データベースが公開されているが、作品の一部分しか表示できない、表示に時間がかかりすぎる、印刷も端末への保存もできないなど、江戸の文献をいかに利用するかを想定できていない、情報処理の専門家が作成した自己目的的なデータベースが散見される。次世代の研究環境を整備するためには、研究者・一般利用者が真に活用できるデータベースの作成が求められている。

2. 研究の目的

本研究は、合巻・読本という江戸時代後期の戯作を対象として、九州大学所蔵本を中心に戯作文献データベースを構築するものである。従来のデータベース作成は紙媒体の目録が主体であったが、本研究では、インターネット上で PDF 画像による全頁閲覧を可能にし、調査結果を踏まえた書誌情報を同じく web に公開することで公開資料の学術的な質を担保するなど、次世代の学術研究環境の整備を目的とする。

3. 研究の方法

期間内に着実に研究成果を上げるため、九州大学附属中央図書館所蔵の「読本コレクション」と九州大学文系合同図書室所蔵の「旧松浦家蔵草双紙」のデータベースの作成を試みた。

「読本コレクション」については、書誌情報及び一部画像はすでに web で閲覧可能であったため、今回は「判読可能なテキストの提供」という方針のもと作業を行った。これは、読本という近世小説の性格を鑑みて、テキストとして通読できることを重視したからであり、読本コレクションに収まる全作品をデジタル画像で通読できる環境を提供することを第一とした。そのため、高画質ながら画像取得に時間がかかるスキャナではなく、デジタルカメラによる撮影を行い、元画像を適度な容量に加工し、原本 1 冊ごとに PDF 形式にファイル化したの提供とした。

「旧松浦家蔵草双紙」については、まず全点の詳細な書誌情報をとった。具体的には、「ID・書名採用基準・書名・書名ルビ・検索用ルビ・角書・角書ルビ・検索用角書ルビ・書型・巻冊・刊年・西暦・板元・作者名・画工名・他画者・筆工・彫工・柱題・構成・序・奥目録・備考・旧蔵・朱識語・

請求番号」という項目で書誌情報を記録し、エクセルファイルにまとめた。さらに、読本コレクション同様に「判読可能なテキストの提供」という方針で、すべての短編合巻と、長編合巻の一部を、PDF ファイルによる全頁画像として、書誌情報をもとに作成した web データベースにアップロードした。

4. 研究成果

「読本コレクション」227 部 756 冊のすべての全頁画像を PDF ファイルのかたちで九州大学附属図書館のホームページから提供した。「判読可能なテキストの提供」という明確な方針で提供画質を設定したため、表示やダウンロードに時間がかかりすぎることもなく、印刷も端末への保存も可能であり、研究者と一般利用者が真に利用しやすいデータベースが完成した。

九州大学附属図書館 HP に公開した解説を、以下引用する。

九州大学附属図書館(中央図書館)の所蔵する読本コレクションの全頁画像を公開する。すでに同コレクションは、九州大学附属図書館ホームページの日本古典籍画像データベースよりデジタル資料が閲覧可能であるため、今回あらためて公開するに至った経緯を述べておきたい。

現在、デジタル化した古典籍資料を WEB 上に公開し、閲覧を可能にする試みが各図書館で行われている。九州大学附属図書館でも、はやくから日本古典籍画像データベースとして古典籍のデジタル化に取り組んでおり、そのうち読本コレクションは平成 11 年 3 月に公開され、表紙・見返し・序跋・目録・内題・刊記など、書誌確認に有用な箇所を中心に WEB 上で閲覧できる状態にある。なかでも希少価値の認められる 8 点については全頁画像を公開している。今回、一部にとどまっていた全頁画像の公開を、読本コレクションのすべてに対して行うものである。

すでに書誌確認に必要な箇所は高画質の画像で閲覧可能であるため、今回は「判読可能なテキストの提供」という方針のもと作業を行った。これは、読本という近世小説の性格を鑑みて、テキストとして通読できることを重視したからであり、読本コレクションに収まる全作品をデジタル画像で通読できる環境を提供することを第一とした。そのため、高画質ながら画像取得に時間がかかるス

キャナではなく、デジタルカメラによる撮影を行い、元画像を適度な容量に加工し、原本 1 冊ごとに PDF 形式にファイル化しての提供とした。作業には細心の注意を払い、原資料と対照してのチェックも行ったが、デジタル・コンテンツはそれ自体で自立したのではなく、原資料の情報を得るための便宜的な存在であるとの姿勢で臨んだ。よって利用目的により、日本古典籍画像データベースや原資料の閲覧と使い分けて、本コンテンツを活用していただきたい。

なお、この度の試みは、「次世代研究環境整備のための在九州戯作文献データベースの構築（学術研究助成基金助成金 若手研究（B）研究代表者：菱岡憲司 研究課題番号：23720131）」の一環として、九州大学附属図書館の協力のもと行ったものである。撮影・画像加工の作業に際し、九州大学大学院生の村上義明・工藤いずみ・趙晶・平山聖悟の協力を得た。

平成 24 年 9 月
有明工業高等専門学校 菱岡憲司

「旧松浦家蔵草双紙」は、所蔵元の九州大学文系合同図書室でも、書名・作者名程度の簡単な棒目録しか存在しない状態であったが、学術的な作法に則った書誌調査の結果、短編合巻 155 点 204 冊、長編合巻 21 点 279 冊、その他 4 点 5 冊、総計 180 点 488 冊という概要が把握でき、かつ表紙に「平戸藩蔵書」（朱陽・方印）との蔵書印と、朱筆による通し番号が付された短編合巻は、『甲子夜話』で名高い平戸藩第 9 代藩主、松浦清（静山）が蒐集したものを、第 10 代熙が整理した旧蔵書である、とコレクションの性格を見定めた。さらに詳細な書誌データをもとにデータベースを作成し、すべての短編合巻と、長編合巻の一部を、PDF ファイルによる全頁画像として公開した。こちらも読本コレクションと同様の方針で画像データベース化したため、やはり研究者と一般利用者が真に利用しやすいデータベースが完成した。

九州大学附属図書館 HP に公開した解説を、以下引用する。

九州大学附属図書館文系合同図書室が所蔵する「旧松浦家蔵草双紙」のデータベースを公開する。「旧松浦家蔵草双紙」は、旧平戸藩主松浦家が所蔵していた草双紙類を、昭和 40 年に九州大学文学部が購入したものである。内訳は、短編合巻 155 点 204 冊、長編合巻 21 点 279 冊、その他

4 点 5 冊、総計 180 点 488 冊となっており、長編合巻が大半を占める。中でも、表紙に「平戸藩蔵書」（朱陽・方印）との蔵書印と、朱筆による通し番号が付された短編合巻は、『甲子夜話』で名高い平戸藩第 9 代藩主、松浦清（静山）が蒐集したものを、第 10 代熙が整理した旧蔵書だと考えられる。同様に朱識語の残る黄表紙は、現在、松浦史料博物館に所蔵される。良好な保存状態で残る本コレクションは、松浦家の戯作蒐集、ひいては近世大名の書籍蒐集をうかがううえでも、貴重な資料群だといえよう。

今回、「旧松浦家蔵草双紙」全点の書誌情報をデータベース化するとともに、すべての短編合巻と、長編合巻の一部を、PDF ファイルによる全頁画像として公開する。画像公開の方針は「読本コレクション」にしたかった。

なお、この度の試みは、「次世代研究環境整備のための在九州戯作文献データベースの構築（学術研究助成基金助成金 若手研究（B）研究代表者：菱岡憲司 研究課題番号：23720131）」の一環として、九州大学附属図書館の協力のもと行ったものである。書誌調査に際し、大庭卓也（久留米大学）・菊池庸介（福岡教育大学）両氏の協力を得た。また撮影・画像加工の作業に際し、九州大学大学院生の平山聖悟・趙晶・吉田宰の協力を得た。

平成 26 年 3 月
有明工業高等専門学校 菱岡憲司

5 . 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 0 件）

〔学会発表〕（計 0 件）

〔図書〕（計 0 件）

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

取得状況（計 0 件）

〔その他〕
ホームページ等

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/news/1328>

平成 24 年度に「読本コレクション」はすでに web 公開したが、九州大学図書館のシステム改変のため、アドレスが変わった。「旧松浦家蔵草双紙」は上記のアドレスより閲覧可能であり、同データベースの「江戸小説」のカテゴリーから、「読本コレクション」のデータも閲覧可能である。なお、平成 26 年度中に、「読本コレクション」「旧松浦家蔵草双紙」ともに新たなトップページのもと、九州大学図書館より改めて公開される予定である。

6 . 研究組織

(1)研究代表者

菱岡憲司（有明工業高等専門学校）
研究者番号：10548720

(2)研究分担者

（ ）
研究者番号：

(3)連携研究者

（ ）
研究者番号：